

令和元年度 協働事業の提案支援モデル事業の取組について

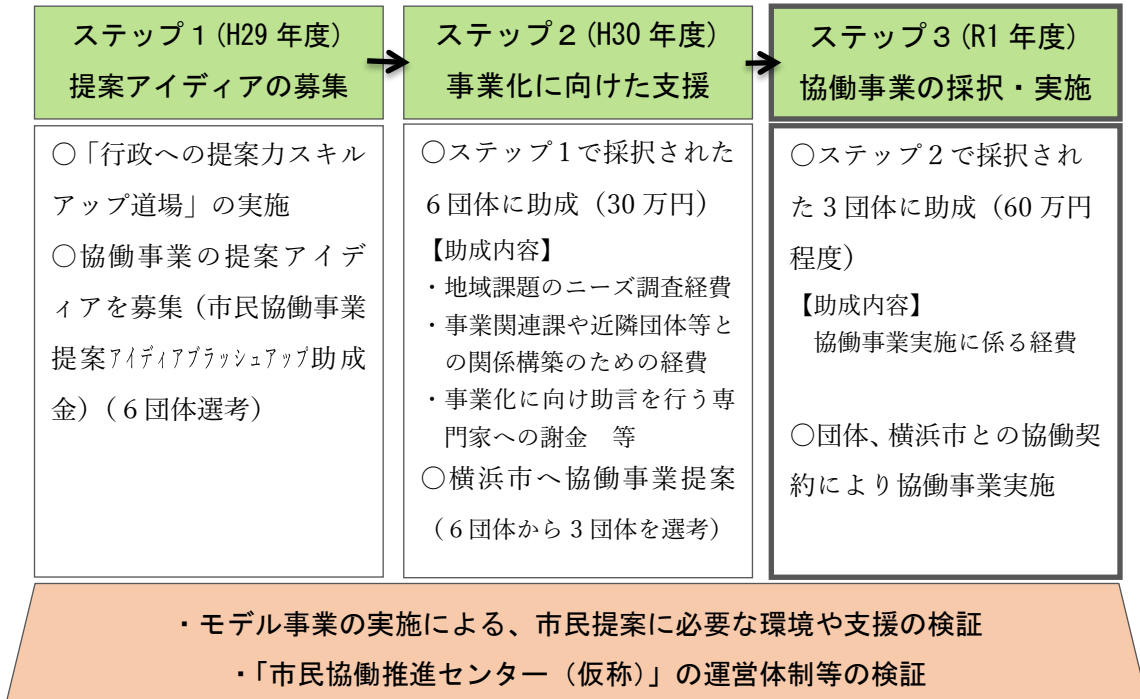
1 協働事業の提案支援モデル事業の目的

(1) 目的

- ①市民協働条例の振返り（H28年度）で把握した課題にもとづき、条例第10条（市民等からの協働事業の提案）の制度の周知を行うとともに、制度をより活用しやすいものとする仕組みや支援、体制を検討すること。
- ②新市庁舎の「市民協働推進センター（仮称）」での市民協働事業の促進につなげること。
- ③条例10条を活用した提案事業を促進すること。（H25年度～H29年度実績／3件）

(2) 事業スキーム

- ア ①提案募集（H29年度） ②提案の事業化の支援（H30年度） ③協働事業実施（R1年度）
 イ 検証（各年毎、3年間）※H30年度振り返りは、第3期第10回市民協働推進委員会で報告。



ウ 平成30年度／令和元年度実施団体

(順不同)

団体名	H30年度実施 (6団体)	R1年度実施 (3団体)
肺がん患者の会ワンステップ	○	○
のはらネットワーク	○	○
てんでんこプロジェクト（金沢区災害ボランティアネットワーク）	○	○
Small Step	○	—
アオバ住宅社	○	—
かながわ311ネットワーク	○	—

2 モデル事業2か年の主な成果（平成29年度～30年度）

（1）協働の理解促進

団体と行政関連課と市民活動支援課が3者で提案内容を議論し検討することで、団体・行政ともに協働に対する理解が深まりました。

（2）団体の提案力向上

助成金を活用したニーズ調査や他団体と連携により団体の知識や活動の幅が広がり、平成29年度モデル事業提案内容に比べて、令和元年度モデル事業提案内容には新たな視点やアイデア、企画が取り入れられるなど、団体の提案力向上につながりました。

（3）行政関連課の連携促進

複数の行政関連課及び市民活動支援課が集まり意見交換することで、行政関連課のヨコの連携体制の推進につながりました。

（4）伴走支援によるスムーズな運営

各団体に伴走支援者（モデル事業では市民局市民活動支援課職員）を配置したことで、団体の要望の聞き取りや、行政関連課との連絡調整がスムーズに行われました。

（5）講座による効果

行政への提案カススキルアップ道場（H29年度）の受講団体の中から、令和元年度提案支援モデル事業に2団体が採択され、こうした講座が市民発意の協働事業提案に寄与することが分かりました。

（6）市民発意の協働アイデアの存在

モデル事業を行う中で、16団体から様々なテーマに基づく提案があり、市民発意の先駆的で柔軟な発想に基づく地域課題や社会的課題の解決に向けた協働による取組のアイデアが、広く潜在的に存在することが分かりました。

3 令和元年度取組（次ページに参考資料）

（1）団体の取組

助成金の効果的な活用、市民協働契約に基づく市民局及び行政所管課との役割分担により、協働事業として実施します。

（2）行政の取組

市民協働事業費負担助成金を3団体に交付しました（60万円／1団体）。また、市民局が団体と市民協働契約を締結し、団体の事業提案内容実現に向けて、団体・行政所管課の伴走支援を実施しています。

4 課題と対応

（1）令和2年度以降の新たな支援事業の検討

市民発意の提案の促進だけでなく、行政からの市民への提案を増やすことで、より一層、市民協働が促進し、地域課題の解決につながります。

そこで、令和2年度に開設する新市庁舎の市民協働推進センター（仮称）における協働事業提案につなげるため、モデル事業で実施した条例第10条に基づく市民発意の提案支援だけでなく、行政側が抱える課題解決に向けた協働の取り組みを推進するため、条例第9条に基づく行政発意の提案に

についても対象とするような、新たな支援事業の仕組みを検討します。

(2) 予算措置

新たな支援事業に必要な予算の確保に向けて、助成金の拡充など予算措置について検討します。

【参考】令和元年度 モデル事業実施3団体と行政の協働状況

団 体 名	特定非営利活動法人 肺がん患者の会ワンステップ
事 業 名	学校でのがん教育に向けたがん患者外部講師の育成モデル事業
事 業 概 要	がん患者講師の育成。がんの予防や命の大切さを患者（当時者）の目線で子どもたちに伝えることができる講師を育成する。
行 政 関 連 課	教育委員会事務局健康教育課、市民局市民活動支援課
6月までの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（月）市民協働契約締結（ワンステップと横浜市）、助成金交付決定 ・ 5月9日（木）ワンステップ、教育委員会事務局健康教育課、市民活動支援課による今後の取組について打ち合わせ ・ 6月28日（金）ワンステップ、健康教育課、市民活動支援課による育成プログラムの内容について等の検討
今 後 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7～8月頃 研修会に向けて広報よこはま等でPR ・ <u>10月5日（土）講師育成研修会（第1回）</u> ・ <u>10月20日（日）講師育成研修会（第2回）</u> ・ <u>1月頃 講師育成研修会（第3回）</u> ・ 3月～4月 事業振り返り、相互評価

団 体 名	NPO法人 のはらネットワーク
事 業 名	ちょこっと子育てレスキュー隊
事 業 概 要	緊急性の高い一時預かりの要望に区内施設のネットワークで対応。区内のネットワークと仕組みをつくる。
行 政 関 連 課	都筑区子ども家庭支援、市民局市民活動支援課
6月までの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（月）市民協働契約締結（のはらネットワークと横浜市）、助成金交付決定 ・ <u>4月25日（木）第1回協議会</u>：年間活動計画策定及び部会メンバー決定 部会：①緊急性の高い預かり、②出張一時預かり、 ③療育センターきょうだい児保育（出張一時預かり） ・ <u>5月27日（月）第2回協議会</u>：部会にて事業実施に向け検討、広報検討 ・ 6月3日（月）平台町内会会長への事業協力依頼挨拶 ・ <u>6月18日（火）第3回協議会</u>：部会にて事業実施に向け検討
今 後 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>6月27日（木）一時預かりサポーター養成講座実施（一般の方向け）</u> ・ 7月 都筑区赤ちゃん会にて事業について説明（全14回） ・ <u>7月24日（水）第4回協議会</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>9月27日（金）永田先生講演会（0歳児支援の大切さ）</u> ・ <u>9月～12月 事業実施</u> <ul style="list-style-type: none"> ①<u>緊急性の高い預かり</u>、②<u>出張一時預かり</u>、 ③<u>療育センターきょうだい児保育（出張一時預かり）</u> ・ <u>1月予定 古野先生講演会（乳幼児期のこどもとメディア）</u> ・ <u>1月 協議会開催（事業振り返り、次年度に向けて）</u> ・ <u>2月 協議会開催（フォーラム開催に向けて）</u> ・ <u>3月 「ちょこっと子育てレスキュー隊」フォーラム開催</u> ・ <u>3月～4月 事業振り返り、相互評価</u>
--	--

団 体 名	てんでんこプロジェクト（金沢区災害ボランティアネットワーク）
事 業 名	地域の子ども・青少年の防災力向上のための事業
事 業 概 要	地域や学校等での防災教室を、小中学校・地域と連携して実施し、子どもと地域の防災力の向上を図る。
行 政 関 連 課	金沢区地域振興課・総務課・子ども家庭支援課、市民局市民活動支援課
6月までの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（月）市民協働契約締結（てんでんこプロジェクトと横浜市）、助成金交付決定 ・ 4月18日（木）金沢区所管課と市民活動支援課打合せ ・ <u>4月29日（月・祝）小学生向けぼうさいスクール（防災スクール開校式、防災ゲームの学校）実施</u> ・ <u>5月2日（木）保護者向け防災 café（災害を知る・防災を知る）実施</u> ・ 5月8日（水）てんでんこプロジェクトと市民活動支援課で今後の取組について打合せ ・ 6月11日（火）てんでんこプロジェクト・区社協・金沢区所管課・市民活動支援課で打合せ
今 後 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>7月6日（土）小学校向けぼうさいスクール（防災料理・救急法）</u> ・ <u>8月23日（金）保護者向け防災 café（料理教室・救急法）</u> ・ 9月10日（火）てんでんこプロジェクト・区社協・金沢区所管課・市民活動支援課で打合せ ・ <u>9月予定 あんどうりすさんセミナー</u> ・ <u>10月14日（月・祝）小学校向けぼうさいスクール（防災遠足）</u> ・ <u>11月12日（火）保護者向け防災 café（日帰り避難所体験）</u> ・ <u>1月13日（月・祝）一般向け（てんでんこ競争&炊き出し選手権）</u> ・ <u>1月25日（土）小学校向けぼうさいスクール（防災キャンプ）</u> ・ <u>3月予定 佐藤先生講演会</u> ・ <u>3月～4月 事業振り返り、相互評価</u>